

別記様式3

特定プログラム説明書

開設学部等名 [ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 アクセシビリティセンター]

プログラムの名称	(和文) アクセシビリティリーダー育成特定プログラム												
	(英文) Accessibility Leader Program												
<p>1. 概要</p> <p>少子高齢化，グローバル化，高度情報化が顕著に進む現代社会では，様々な文脈でアクセシビリティの重要性が高まっている。本プログラムでは，個人や社会の多様性をよく理解し，アクセシビリティを推進することで現代社会の可能性を開拓する「アクセシビリティリーダー」の育成を行う。</p> <p>本プログラムでは，オンライン講座及び指定4科目で，多様性とアクセシビリティに関する意識・知識・経験・技術を育み，<u>1級アクセシビリティリーダー資格</u>の取得を目指す。さらに資格取得後，指定1科目および研修（インターンシップ又はキャンプ）でリーダーとしての実践力・企画力を育み，全てのプログラムを修了したものに対して，本学独自の<u>アクセシビリティ・スペシャリスト認定</u>を行う。</p>													
<p>2. 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ（多様性）・アクセシビリティ推進に必要な基礎知識と支援技術を修得する。 アクセシビリティをコーディネートする技能を修得し，1級アクセシビリティリーダー資格を取得する。 アクセシビリティリーダーとしての実践経験を積み，アクセシビリティに関する実践力・企画力を修得し，アクセシビリティを推進することで多様な分野・文脈で可能性を開拓する技能を獲得する。 													
<p>3. 登録時期</p> <p>1セメスターを履修開始時期とする。プログラム登録は，履修開始前（事前登録）を原則とするが，履修開始後の登録（事後登録）も可能とする。なお，プログラムを登録する前に修得した授業科目の単位を修了要件単位に算入することができる。</p>													
<p>4. 登録要件</p> <p>登録要件は特に定めないが，本プログラムが提供する授業科目には，アクセシビリティセンター開設科目の他に総合科学部開設科目および教養教育開設科目が含まれているので履修の際に注意すること。</p>													
<p>5. 受入上限数</p> <p>50名を原則とするが，希望者が多い場合は100名までを限度として受講可能とする。希望者多数の場合は，GPA及び関係授業科目の履修状況により審査する。</p>													
<p>6. 授業科目及び授業内容</p> <p>本プログラムが提供する授業科目（表1）：計8単位</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(1) 障害学生支援ボランティア実習 A (教養教育科目で開講，山本・坂本)</td> <td style="width: 5%;">1 単位</td> <td style="width: 50%;">(2) 障害学生支援ボランティア実習 B (教養教育科目で開講，山本・坂本)</td> <td style="width: 5%;">1 単位</td> </tr> <tr> <td>(3) 障害者支援アクセシビリティ概論 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本 他)</td> <td>2 単位</td> <td>(4) 現代アクセシビリティ研究 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本)</td> <td>2 単位</td> </tr> <tr> <td>(5) アクセシビリティ科学 (総合科学部で開講，山本・坂本)</td> <td>2 単位</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		(1) 障害学生支援ボランティア実習 A (教養教育科目で開講，山本・坂本)	1 単位	(2) 障害学生支援ボランティア実習 B (教養教育科目で開講，山本・坂本)	1 単位	(3) 障害者支援アクセシビリティ概論 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本 他)	2 単位	(4) 現代アクセシビリティ研究 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本)	2 単位	(5) アクセシビリティ科学 (総合科学部で開講，山本・坂本)	2 単位		
(1) 障害学生支援ボランティア実習 A (教養教育科目で開講，山本・坂本)	1 単位	(2) 障害学生支援ボランティア実習 B (教養教育科目で開講，山本・坂本)	1 単位										
(3) 障害者支援アクセシビリティ概論 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本 他)	2 単位	(4) 現代アクセシビリティ研究 (アクセシビリティセンターで開講，山本・坂本)	2 単位										
(5) アクセシビリティ科学 (総合科学部で開講，山本・坂本)	2 単位												

本プログラムが提供する講座・研修（表2）：

(1) オンラインアクセシビリティ講座・導入編	(2) オンラインアクセシビリティ講座・基礎編
(3) アクセシビリティリーダー・インターンシップ (学内・地域・企業)	(4) アクセシビリティリーダー・キャンプ

※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

7. 修了要件

Moodleで配信する「オンラインアクセシビリティ講座」を修了し、別紙履修表に記載された教養教育科目・専門教育科目の8単位を修得すること。

1級アクセシビリティリーダー認定試験に合格し、資格取得後「アクセシビリティリーダー・インターンシップ」又は「アクセシビリティリーダー・キャンプ」のいずれかに参加すること。

8. 責任体制

ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 アクセシビリティセンター

実施責任者：山本幹雄 アクセシビリティセンター 准教授

担当者：山本幹雄 アクセシビリティセンター 准教授

：坂本晶子 アクセシビリティセンター 助教

9. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

アクセシビリティリーダー育成特定プログラム履修表

オンライン講座 (注1)	オンラインアクセシビリティ講座（導入編）	Moodle
	オンラインアクセシビリティ講座（基礎編）	Moodle

↓ (注1) オンライン講座修了前でも下記授業科目の履修は可能

科目区分	開設部局等	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数	授業の方法	授業時間
教養教育科目	教養教育本部	障害学生支援ボランティア実習A	1	1セメ(1T集中) 2セメ(3T集中)	1	実習	30
		障害学生支援ボランティア実習B	1	1セメ(2T集中) 2セメ(4T集中)	1	実習	30
専門教育科目	アクセシビリティセンター	障害者支援アクセシビリティ概論	2	1セメ(夏季集中)	2	講義	30
		現代アクセシビリティ研究	2	3セメ(2T) 3セメ(夏季集中) (東広島・霞・東千田)	2	演習	30

↓

(注2) 1級アクセシビリティリーダー資格認定 (AL 育成協議会)

↓ (注2) 資格認定試験の詳細については、「もみじ」等のアナウンスを確認すること

科目区分	開設部局等	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数	授業の方法	授業時間
専門教育科目 (注3)	総合科学部	アクセシビリティ科学	2	4セメ(4T)	2	講義	30

↓ (注3) 1級アクセシビリティリーダー資格認定を受けていなくても上記授業科目の履修は可能

実践フィールド (注4)	① アクセシビリティリーダー・インターンシップ	アクセシビリティセンター開設の研修
	② アクセシビリティリーダー・キャンプ	AL 育成協議会開催の研修合宿

↓ (注4) 資格取得後①②のいずれかに参加

アクセシビリティ・スペシャリスト認定 (アクセシビリティセンター)

↓

特定プログラム修了